

社会福祉法人
椎原寿恵会



新年のご挨拶 ～激動の介護新時代へ向けて～

新年明けましておめでとうございます。

今年は巳年。巳年に生まれた人は、蛇のように知恵深く、粘り強い性格を持つそうです。また、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味もあるそうで、現在の椎原寿恵会の状況を反映している様にも感じます。コロナやインフルエンザなどの感染症は今後も油断できませんが、超少子高齢化社会の着実な進行や物価高、格差の拡大など、不安要素が広がる中でも、着実にかつ計画的に努力すれば必ず明るい結果が待っているのだという、期待が持てる巳年の始まりかも知れません。

4月からの令和7年度は、椎原寿恵会第1期中期経営計画の4年目に当たります。令和5年度が大幅に経営改善できたものの、6年度は佐賀及び鹿児島事業部ともに、事業の統廃合と新規事業の準備や立ち上げが行われたため、移行期として多少の経営悪化が予想されますが、7年度は将来を目指し、厚生労働省が推める大規模化、多機能化、協働化の3つを軸に、一步一步積み上げていきたいと思ひます。

外国人の方々の入職も増えてきました。職員皆が助けあい理解し合いながら、活力ある椎原寿恵会を作り上げたいと思ひます。そして、何よりも、利用して下さる高齢者や障がい者、そして子どもたちが、いきいきと生活できる空間を作っていきたいものです。

社会福祉法人 椎原寿恵会
理事長 中川原 章

基本理念

豊かなまごころを通じて喜びのある人生を願ひます。

共生

共生

住み慣れた地域で親しい人に囲まれて、社会連帯の中で心豊かに生きましよう。

奉仕

社会は一人のために、一人は社会のために力を尽くし、喜びや悲しみを分かち合ひましよう。

拓生

どなたにとってもかけがえのない人生です。いつもその人らしい輝きを放ちながら、一生をきずいていきましよう。

奉仕

拓生

NEWS



真心の園 セントラルキッチン（直営）がスタート！

10月から真心の園とケアハウス花みず木（給食サービスを含む）の給食をセントラルキッチンで提供しています。セントラルキッチンとは、調理作業を1カ所に集中させることで業務の効率化を図るための施設です。食材の調達や調理、冷却・冷蔵までをセントラルキッチンで行い、再加熱から盛り付け・配膳を各施設で行います。調理後の食品を急速冷却しチルド保管することによって、食材の安全や品質を保ちながら各施設に配送し、提供することが可能です。当法人では入居者の皆様に安心して食べていただけるよう品質が安定した安全性の高い食事の提供を実現していきます。



働き方改革モデル事業の成果を発表

10月31日から2日間、宮崎市で開催された令和6年度九州老人福祉施設職員研究大会へ参加しました。大会のテーマが「持続可能な施設運営と未来への展望」～宮崎からのチェンジ～で「地域における社会福祉法人・施設の公益的活動の実践」のテーマのもと、私は佐賀県働き方改革モデル実践事業に参加し業務改善について第2階で課題抽出や解決する手段、方法を学び取り組んだ成果を発表しました。

認知症高齢者就労支援に向けての施設の取り組みやコロナ禍を経ての地域住民とのかかわり方、身寄りのない方の終末期支援など他施設の発表も勉強になり、自発表も含めてこの経験を今後の介護業務に活かしていきたいと考えています。

真心の園 堀江真紀



NEWS



『SAGAN高齢者すまいるエールプロジェクト』 in 真心の園

佐賀県では、福祉利用者がサガン鳥栖の応援を通して、生きがいやワクワク感を見出していく『SAGAN高齢者すまいるエールプロジェクト』を実施する事になり、特別養護老人ホーム真心の園が実施施設となりました。全日程に神埼清明高校（総合学科生活福祉系列）の2年生が参加しました。

活動は3回に分けて行われ、第1回目は真心の園のデイサービス利用者の皆さんが参加し、サガン鳥栖SRO（サガン・リレーションズ・オフィサー）の高橋義希さんのお話や、生徒さんによる手遊び歌のレクリエーションが行われました。

第2回目は、真心の園のデイ利用者の方がうちわを使って押し応援グッズ作成に挑戦しました。生徒さんのサポートを受けながら各々オリジナルの可愛い推しうちわが完成しました。

最終回は、11月30日（土）真心の園 地域交流ホールで、高橋義希SROの試合解説によるサガン鳥栖vs名古屋グランパス戦の試合観戦（パブリックビューイング）を行いました。参加者は関係者を含めると総勢50名以上での観戦となりました。皆さんの盛大な応援もあり、試合結果は3-0でサガン鳥栖の大勝利でした。

今回のプロジェクトに当法人が参加できたことに感謝いたします。また、参加していただいたデイサービスの利用者様、特養の皆様、ご協力いただいた神埼清明高校の生徒の皆さん、関係者の皆様、本当にありがとうございました。



令和6年10月19日 真心の園 第2回「介護体験会」を開催



地域包括ケア推進委員会主催、第2回「介護体験会」を開催しました。当日は地域の民生委員、一般の方、入居者様を含む約20名の方が参加されました。2部構成で実施し、1部では最新型の車椅子や介助者が着用し腰への負担を軽減するマッスルスーツ、移乗用の機器、衛生用品や靴などを展示し、実際に物に触れ体験して頂きました。2部では真心の園医務課伊藤PTによる講話とゴムを使用した体操を参加者全員で行いました。短い時間ではありましたが、充実した内容で参加者の皆様に学びを深めてもらうことが出来ました。参加して頂いた皆様、開催に協力頂いた職員の皆様、ありがとうございました。



各施設だより 暮らしのダイアリー



みんなで作ったリースの前でキュンです♡



「ゆめさが大学」の方が、紙芝居を披露されみなさん楽しめました。



祐徳稲荷神社の完成です！いつでも参拝にどうぞ～



完成が楽しみだね

みんなでせっせと頑張りました

貼り絵

鳥栖市中央デイサービスセンター

佐賀

一緒に歌って、皆さん楽しく過ごしています！



誕生会の出し物の様子



100gを目指せゲームに挑戦！



何が出来のかな～？楽しみやね！

工場見学

エメラルドグリーンに大感激

グループホーム 有馬館



今年のみかんは甘ーい



農業高校でミカン狩り体験

今年も大ハッスルしましたね



有馬館運動会

グループホーム 椎原館

鹿児島

お茶碗洗い

一緒に家事を頑張っています。



お料理

紅白どちらもがんばれー。

秋の運動会



TOPICS

令和6年11月2日

感動をありがとう!! 鳥栖商高吹奏楽部



鳥栖商業高校吹奏楽部のみなさんが真心の園を訪問され、入居者の方々に生演奏を披露していただきました。耳なじみのある曲や懐かしい曲を聴いて、入居者のみなさんは自然と口ずさんだり、リズムを取ったり手拍子をしたりして楽しまれていました。鳥栖商業高校吹奏楽部のみなさん、今年も素晴らしい演奏をありがとうございました。

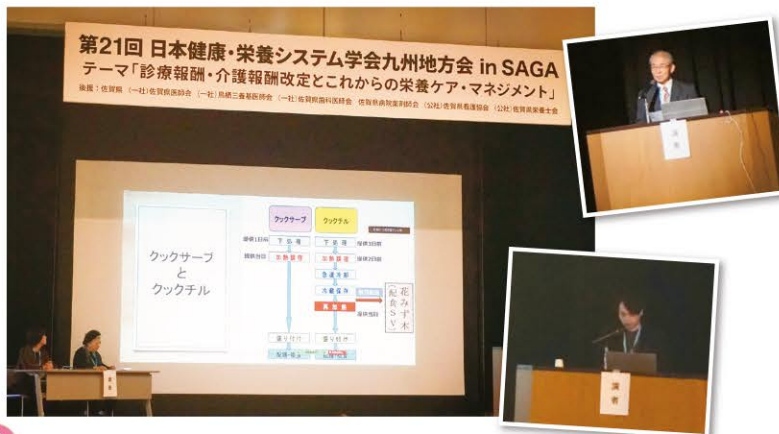
令和6年11月21日

第3回まごころセミナーを実施

講師にパーソナルトレーナーの下迫淳平氏を招き、「肩・腰・膝を守る機能的トレーニング」をテーマに講話して頂きました。下迫氏の実演を見ながら、参加者の皆さんも一緒に実践しました。体のどこが一番重要であるかをポイントに、タオルを使用時のストレッチや椅子を利用時のスクワットなどをわかりやすく説明していただきました。参加者からは「体の動かし方などが分かってよかった」等の声も聞かれ、実践しながらコツを掴んだりストレッチの重要性を楽しく学べる時間を過ごせました。



日本健康・栄養システム学会で真心の園 管理栄養士が発表



11月23日に鳥栖市のサンメッセ鳥栖で「診療報酬・介護報酬改定とこれからの栄養ケア・マネジメント」をテーマに第21回日本健康・栄養システム学会九州地方会in SAGAが開催されました。冒頭、大会会長を務めた当法人中川原理事長の挨拶に始まり、シンポジウムにて「介護報酬改定と給食現場活動の改善策について」を題材に真心の園栄養管理課、管理栄養士の瀧浪孝憲さんが発表されました。

かせだフレンドホーム 打ち上げ花火、避難訓練を実施

10月25日、今年も打ち上げ花火を実施しました。当日は雨が降っており、実施できるか心配でしたが、開始時には雨が上がり開催することができました。秋の夜空を彩る大輪の花が咲くたびに、来場された皆さんからは歓声が上がりました。

11月6日、今回は夜間想定で避難訓練を行いました。厨房を火元に想定し、初期消火に失敗したという設定で、通報訓練・避難誘導・安全確認訓練をしました。当法人では、今後も防災訓練を継続して行い、利用者様の安全確保に努めていきます。



ケアハウス花みず木 スポーツ観戦&グラウンドゴルフ優勝!

国民スポーツ大会が今年は佐賀県で開催されました。10月7日、サロンパスアリーナへバレーボール競技を観戦し、帰りはランチに立ち寄りしました。食事をしていたら、レッドトルネードSAGAの中田航太選手と遭遇しました。中田選手はトヨタ紡織九州所属のハンドボール選手で、日本代表選手です。中田選手の笑顔に惚れ惚れしたので、今度は試合を見に行く事を楽しみにしています。

11月14日、佐賀県老人福祉施設協議会主催のグラウンドゴルフ大会に2名参加しました。I様は優勝!! H様は3位! 日頃の練習の成果が出ていました。おめでとうございます!

ケアハウス花みず木 岡本 治美



後日、応援に行った時の写真です。

感染対策委員会の活動状況



当委員会は法人事業所の感染症及び食中毒等を未然に防止し、感染症が発生した場合は、迅速かつ適切な対策を行うことを目的に設置されました。平時の感染予防と感染症発生時の対応を職員が理解し実施できる体制づくりが重要な役割と言えます。今年度は感染対策マニュアルの作成・全職員の感染症研修受講に力をいれています。

高齢者や障がい者施設における感染症の発生は、重症化すると生命にかかわり、身体機能や生活に様々な形で影響していきます。新型コロナウイルス感染症は発生から5年目となりました。まだまだ予断の許さない状況ですが、感染対策の基本である手洗い・マスク・換気を実行していきましょう。